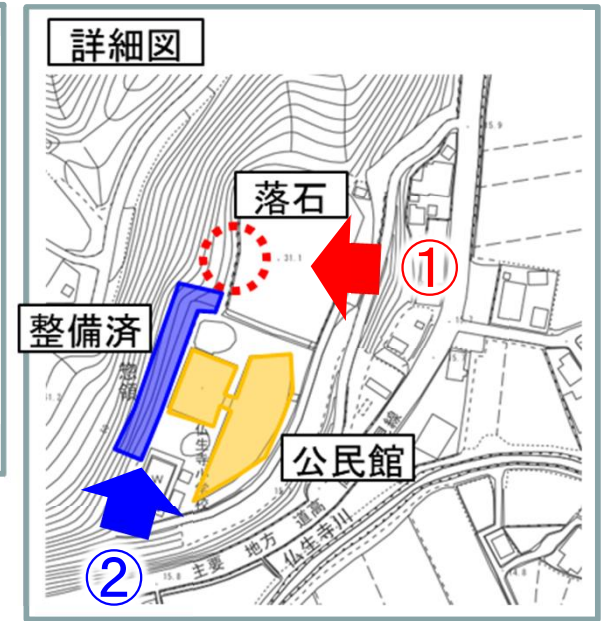


【施設効果事例】 惣領(5)地区 急傾斜地崩壊防止施設

災害発生日：令和6年1月1日
発生要因：能登半島地震（震度5強）
※氷見市加納観測点（県）
発生箇所：富山県氷見市惣領
状況：1月1日の能登半島地震により、仏生寺公民館（施設整備を受けレッドゾーン解除により土砂災害の指定避難所となった）の隣接斜面が崩落し、50cm程度の落石が発生した。一方、法枠工と落石防護柵工を整備した公民館の裏の斜面では、落石は発生しなかった。（公民館は地震時に避難所として活用され、約100名の避難があった。）
このことから、公民館等への被害を未然に防止し施設効果を発揮したと考えられる。



①斜面崩壊発生箇所



②対策済み斜面

